

特集

地域を盛り上げたい！
地元を愛する人たち

大好き！

ヒラカワ！

市内で活動をしている3つの団体を紹介します。

h & f プラス
Asobo! Hirakawa
グリーンファーム農家蔵



h & f プラス

● h & f プラス

(えいちあんどえふぷらす)

profile 2015年のひらかわイルミネーションプロムナードでのキャンドルナイト開催(主催:生涯学習課)を契機に2016年12月設立。

◎活動内容

こどものあそびと育ちに関する体験事業や地域活性化や生涯学習に関わる事業を行っています

私達の活動の軸となっているのは、県の企画運営委託事業「親子で学ぶ体験型環境教育プラン事業」、あそび合いの活動を通して人と人との豊かな関わりを探っていく「ひらかわ忍者修行の巻」、他団体との共催の体験型キャリア教育事業「おしごと体験広場キッズハローワーク」、小学校でのキャンドル作りのワークショップといった、こどもに関する事業です。地域活性化を目的とした活動としては平川市、黒石市、田舎館村で「キャンドルナイト」を開催しています。その他、「ありがとうの手紙を3月9日に届けよう!あおもり39(サンキュー)レタープロジェクト」、さらに今年からは地域で活動するクラフト作家さんの出展の場として「ぶらすマルシェ」を開催しています。



● Asobo! Hirakawa (あそぼ!ひらかわ)

profile 2017年2月に設立したボランティア団体です。「平川市で遊んで平川市を楽しむそしてちょっと地域貢献」をコンセプトに毎月1回以上、市内各地でイベントを開催しています。また、3人の設立メンバーとイベントの企画運営に協力してくれている4人の地元学生ボランティアで成り立っています。

◎活動内容

平川市を住んでいて楽しめるまちにしたい！
と様々なイベントを企画しています

朝ヨガや献上わらび採り、廃校をつかった怪談イベント、市内飲食店を盛り上げようと「スナック de ライブ」を開催したほか、中高生を含めた若者と地元企業などを集めて意見交換をする「ひらかわ Startup カフェ」など、健康的なものから大人が楽しめるもの、さらにはちょっと真面目なものまで「遊び」を主体とし、様々なジャンルで企画しています。



／ たくさんのイベントを開催しています！ ／



◎活動の目的

コンセプトは
～ワクワクの大地にドキドキの種をまく～

まいた種からどんな芽が出て、どんな花が咲き、どんな実がなるかを自分たちも楽しみながら、たくさんの仲間と一緒に「まち+ひと=地域」のうれしい楽しいが広がる活動をしています。

平川市はもとより、近隣市町村や住民が「地域を愛し、楽しみ、心豊かに暮らしていくため」に、世代を超えた幅広い地域のニーズを事業に取り入れ、楽しみながら活動しています。

◎今後やりたいこと、展望について

多くの方が輝ける「場」を創出していきたい

会の名前についている「プラス」は、メンバーだけでなく私達と関わってくれた全ての方、イベントなどに出演、出演してくれた方、来場してくれた皆さんのことと捉えています。その「プラス」になってくれた多くの方が輝ける「場」を創出していきたいと考えています。皆さんに「楽しい、またやって」と言われるのが一番嬉しく、次への励みになります。9月23日には、長年地域で音楽活動をしている方々と協力して、平川市初のミュージックフェスティバルを開催します。多くの皆さんに楽しんでいただければと思います。



h & f プラス

Facebookは「HIRAKAWA h & f プラス」で検索。
電話 090-6454-8910



◎活動の目的

わたしたちの目標は
「ひらかわ遊びプランを
100個つくること」



大人も子供ももっと地元を「平川市」を楽しんでほしいという思いで活動しています。大きく特別なイベントだけでなく、すでに平川市にあるモノや人とのつながりから「遊び」を創っています。「地元には魅力がない。娯楽がない。つまらない。」そんな悲しい言葉や思いを次の世代が持たないように。

そのためにまず私たち大人が平川市で楽しんでいる姿を見せていかないといけないのです。みんなで楽しく「平川市」で遊ぼう！みんなが楽しんでいたなら、きっといまより素敵に映るはず。

◎今後やりたいこと、展望について

若い世代にもぜひ参加してほしい

今現在、主な活動が平賀地区に偏っているため、尾上、碓ヶ関地区でも遊びプランを提供できるよう仲間をつくりたいと考えています。また、これまでのイベントにおいて高校生や大学生など10代～20代のイベント参加率が低いと感じています。若い世代の地域活動への参加が活発になるような企画やチームづくりに今後、力を入れていきたいと思えます。



9月15日(土)には、津軽のにぐ文化と地域ミュージシャンが融合した野外フェス「津軽ひらかわにぐ FESTIVAL」を開催します。ぜひお越しください！

平川市を「全国イチ住みやすい」+「楽しいから住み続けたいと思える街」に私たちが変えていきます！

Asobo! Hirakawa ホームページは「あそびひらかわ」で検索。
Eメール asobo.hirakawa@gmail.com
電話 090-6228-7950



みなさーん平川で一緒に遊みましょう♪



●農業生産法人 株式会社グリーンファーム農家蔵

(のうぎょうせいさんほうじんかぶしきがいしゃぐりんふぁーむのうかぐら)

profile 2012年2月設立。「農家蔵保存と利活用促進、グリーンツーリズム事業の推進基盤の確立と定着拡充」を指標に活動。2015年9月、「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」に選定。2018年2月「おもてなしアワード2017」最高賞の県知事賞受賞。



◎活動内容

グリーンツーリズムによる活性化を図るため、農村民泊利用者を誘致しています

農業者の高齢化、後継者不足などの課題を踏まえ、グリーンツーリズムによる地域活性化を図るため、国内外の修学旅行生や一般客、インバウンドの農村民泊利用者を誘致し、農作業・農村生活体験を通し、「食」を支える根本である農業と食糧の大切さを伝える「食農食育教育」を実践、労働力の確保や所得の向上に貢献しています。

また、米やりんごを生産し、加工品の製造、販売(六次産業)にも取り組み、毎月最終金曜日と土曜日の2日間「蔵カフェ」をOPENし、国産小麦と米粉、白神こだま酵母を使い、無添加の米粉パンを販売しています。

●蔵カフェ

営業日：毎月最終金曜日土曜日

営業時間：11時～16時

※宅配、通販もあります。



◎活動の目的

2年後には5,000名へ

地域に密着した活動を展開し、グリーンツーリズム産業化構築へ全力で取り組みながら、農業と農村活性化や地域活性化に寄与していくことが弊社のミッションです。

現在、平川市へ民泊に訪れる修学旅行生は年間3,000名程ですが、2年後には5,000名を目標としており、そのためには受入先が必要不可欠です。現在は130軒程登録し受入していますが、まだまだ必要ですので、修学旅行生の受入にご興味のある方はご連絡下さい。

その他、放棄農地増加も深刻な問題となっていますので、放棄農地活用を含めたりんご生産基盤の拡大を目指します。



◎今後やりたいこと、展望について

若い子などの声が響き渡る地域、人口増加にも貢献していきたい

民泊受入先が増えると、それに比例し体験に訪れる修学旅行生も増え、農村にラジオではなく若い子などの声が響き渡る地域となります。また、昨年と今年の2年に渡り、平川ねぶたまつりと農村民泊をPRするため、「平川ねぶたまつり&農作業・農村生活体験ファームステイ」を行いました。国内外の参加者30名が参加しましたが、参加者からの評価は非常に高く、こうした活動が徐々に浸透することで、平川市を訪れる観光客の増加や知名度アップにも繋がるものと思われます。今後は移住促進事業にも力を入れ、人口増加にも貢献していければと思っています。



農業生産法人 株式会社グリーンファーム農家蔵

Eメール nozawa.kura@gmail.com

電話 0172-88-5039

HP <http://greenfarm.company/office.html>

